

「がん口コモ」とリハビリテーション科の取り組み

「がん口コモ」とは、「がん」そのもの、あるいは「がん」の治療によって、骨・関節・筋肉・神経などの運動器に障害が生じ、移動能力が低下した状態です。

増悪・進行すると日常生活に支障を生じるだけでなく、がんの治療自体にも影響します。

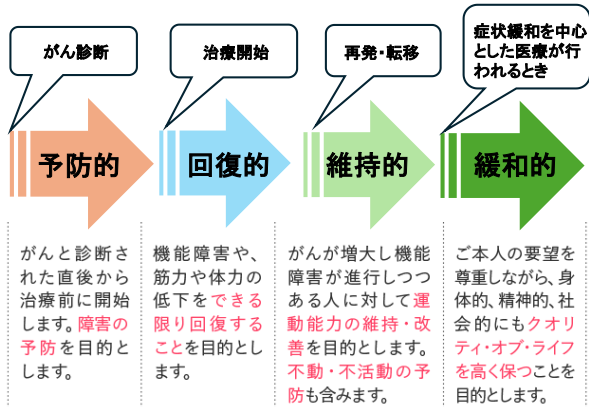
九州がんセンターリハビリテーション科は「がん口コモ」に対して様々な取り組みを行っています。

がん治療の段階に応じたリハビリ

治療予定が決まっている患者さんへの介入を積極的に行い、がんの治療中に生活の質を落とさないように体力をつけていきます。

右図のように「がん」の様々な段階でリハビリの目的が異なりますので、その段階や患者さん個々に適したリハビリを行っています。

がんのリハビリテーション医療の病期別の目的



体組成計による身体状態の可視化

食道がんや肝臓がんなどの手術前後、AYA世代の患者さんを中心に体組成による身体計測を行い、筋肉量・脂肪量などを患者さんに提示しながらトレーニング指導・栄養指導を行うことで、患者さんのモチベーション向上にもつながります。

* AYA (Adolescent and Young Adult) 世代とは思春期 (15歳ごろ) から30代の世代を指す言葉です

高齢のがん患者さんへの取り組み

社会の高齢化に伴い、「がん」の患者さんも高齢化しています。当院では「老年腫瘍科」が高齢のがん患者さんの総合的な健康状態を評価して、どのような治療が適切かを診断しています。

「老年腫瘍科」を受診する患者さんは、リハビリテーション科にて握力や体組成計測などの評価を行っています。

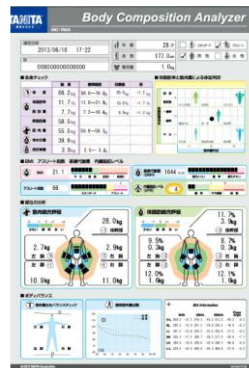
運動指導動画のご紹介

当院では入院患者さんのみを対象にリハビリをおこなっていますので、退院後の患者さんや通院中の患者さんが「がん口コモ」の進行予防のための運動を自宅でもできるように、動画を作成しています。

右のQRコードから当院ホームページにアクセスしていただき、「診療科・部門」内の「リハビリテーション科」のページの最下段にある「リハビリテーション部門紹介」をご覧ください。(ホームページURL: <http://kyushu-cc.hosp.go.jp>)
老年腫瘍科と共同で作成した「自分でできる下肢運動とウォーキング」などの動画がご覧いただけます。



体組成計



筋肉総合評価や 部位別の筋肉
筋肉量、筋肉量左右バランス
などが表示されます。



九州がんセンター
ホームページ
QRコード